

第1号様式（第7条関係）

## 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長		平成 29年07月20日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区久世大藪町469番地		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 事業所長 立石 直寿
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004	
適用範囲	日本板硝子株式会社 京都事業所	
導入年月日	2011年 12月21日	
認証番号	NO.12 104 21918/43 TMS	
基本方針	我々は、地球環境の大切さを十分認識して、環境と調和した生産活動を行って行く。そして、地域社会から敬愛され共存でき、従業員が誇れる事業所を目指し、健全で豊かな社会の実現に貢献する。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出枚数原単位の削減 : 2015年度比 1%削減</li> <li>・産業廃棄物処理量の削減 : 2015年度比 1%削減</li> </ul>	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出枚数原単位の削減</li> <li>1) 設備稼働率の向上 2) 生産スピードのアップ 3) 設備の省エネ運転化</li> <li>4) 機器の効率化 5) 設備の稼働集中化による効率向上</li> <li>・産業廃棄物処理量の削減</li> <li>1) 分別の徹底 2) 分別の細分化 3) 廃棄カレットの循環カレット化</li> <li>4) 廃棄物の有価物化</li> </ul>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出枚数原単位の削減</li> <li>1) GHP炉、PB炉設備の稼働集中によるエネルギー削減</li> <li>2) 生産スピードと低故障率を各設備で進捗成果を上げている</li> <li>・産業廃棄物処理量の削減</li> <li>1) 廃プラ類分別徹底と、細分化による有価物化により産業廃棄物の減量化を進めている。</li> </ul>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初の計画通りに取り組みは進捗しているが、新規設備の設置、少量品種の生産によりエネルギーの消費、廃棄物の増加が予想される。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	当事業所に関わる関連法規の遵守状況は、6/Mに1回確認をして居り、違反及び行政指導は認められません。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境目的・目標の設定は2011年度に5年計画で取り組んで参りましたが、2014年度実績で最終年度（2015年）のCO2の削減で数値目標との隔たりが大きく、実現が困難との判断から2015年度（単年度）の目標値を見直した。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。